

福岡ジュニアソフトボールフレンドシップリーグ ローカル・ルール

1. リーグのローカル・ルールは、審判会議にて決定し、役員会の承認を得て各チームに公布する。
2. 各グラウンドのグラウンドルールは、各グラウンド責任チームの責任者によって決定する。
3. 試合中の抗議権は、監督のみとする。
4. 試合中の抗議権は、監督不在の場合のみ、選手と同一で背番号 31 番、または 32 番のユニフォームを着用したコーチを、オーダー表に監督として記入し提出すれば、そのコーチを監督代行として認め、抗議権を与える。
5. 試合に出場する選手は、リーグ指定のオーダー表に、全員の氏名を記入すること。
6. 試合に出場する選手は、同一ユニフォーム着用とする。
7. 試合に出場する選手の靴は、セラミックスパイクと金属スパイクの使用は、禁止する。
8. 試合球は、リーグ公認球の教育検定 2 号球とする。
9. 試合球は、試合毎に各チームが 2 個ずつ提出する。
10. 試合は、60 分 5 イニングとし、60 分を過ぎて次のイニングに入らない。
11. 試合は、60 分を過ぎて同点の場合は、引き分けとする。
12. 試合は、5 イニング終了時に同点の場合は、60 分以内であれば、延長戦とする。60 分を過ぎていけば、引き分けとする。
13. 延長戦で、60 分を過ぎて同点の場合は、引き分けとする。
14. 3 回以降 7 点差が生じた場合には、コールドゲームを適用する。
15. 試合は、3 イニングを終了した時点で成立する。
16. 天候不良等の理由により、試合途中での中断、続行、中止の判断は、当該試合の審判団にて決定する。
17. 試合中の事故により、選手がプレーを継続できなくなったと当該試合の審判団が判断した場合、相手チームの監督の了解を得た上で、代替りの選手を出場させることができる。その場合、代替りの選手は、ルール上の交代選手としては扱わず、事故により退場した選手は、再度出場できる。
18. 選手は、プレー中のネックウォーマーを禁止する。
19. 指導者は、ベンチ内でのウエストポーチ、タオル巻きを禁止する。
20. 審判は、短パン、サンダル履き、ウエストポーチ、タオル巻き、ロングのベンチコート、自チームユニフォームのままでの出場を禁止する。
21. 球審は、ボールケースを使用する。
22. 各チームの審判リーダーは、リーグ戦会場において自チームの試合中以外は腕章を着用する。審判リーダー不在の場合は、代行の者が腕章を着用する。
23. 審判員の不足等については、リーグ戦会場内各チームで協力し合う。